



## 三富新田 三芳町 伊東農園落ち葉掃き報告

2018年2月10日

～循環型農業を応援して里山を守り・未来に繋げましょう～



ところざわ倶楽部  
「所沢の自然と農業サークル」

昨年3月に未来に残すべき農法として「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が「日本農業遺産」に認定されました。認定推進活動の中心的役割を担った三芳町上富の伊東農園さんの落ち葉掃きを行いました。今年もNPO 埼玉森林サポーターズクラブさんの活動日に合わせて合同で実施しました。  
※1月27日の予定が雪の為、順延されたにもかかわらず多くの方に参加して頂き、ありがとうございました。

- ・日 時:2018年2月10日(土)9:00 集合～13:30頃まで(作業は12:30で終了)
- ・場 所:埼玉県三芳町上富 1388-3「伊東農園(江戸屋 弘東園)」tel:049-258-2711
- ・参加者:4団体21名(NPO がんばれ農業人、秩父学園みどりの応援隊、市民大学ファームの会、当サークル)  
※NPO 埼玉森林サポーターズクラブさんは25名参加。

### 【8:30～ 開会式&準備運動】

<p>伊東さんの挨拶 武蔵野の落ち葉堆肥農法が継続出来るのはボランティアの皆さんのお陰ですとの挨拶を頂きました。</p>	<p>映画「武蔵野」の原村監督の挨拶 伊東さんも出演しているドキュメンタリー映画で3月の三芳町、4月の川越市での上映会に応援よろしく</p>	<p>作業前の準備運動 安全確保のため、中原さんの号令でNHK ラジオ体操第一と足腰のストレッチを実施しました。</p>

### 【9:00～12:30 落ち葉掃き】

掃いた落ち葉は、昔の運搬用具である「ハッポン」と呼ばれる竹籠に詰めて堆肥場に運びます。





重労働の堆肥場作業ご苦労さまでした。竹籠から落ち葉を出し、米ぬかを混ぜながら踏み固めます。



ご苦労様でした。

伊東さんからお礼の挨拶



- 1月17日の予定が雪の影響で順延となり、6日時点でも雪が溶け切らず、更には天気予報も心配でしたが、快晴で気温も寒さを感じずに絶好のコンディションで無事作業を終えることが出来ました。
- 私たちが掃いた落ち葉は、今年のさつま芋の苗床に敷き詰め 4 月から植え付ける苗を育て、9 月から収穫する美味しいさつま芋となります。また、堆肥場に運んだ落ち葉は、米ぬかを混ぜ反転させながら1~2 年かけて十分に発酵させ、さつま芋畑に漉き込み豊かな土壌を育て、美味しいさつま芋を育てます。
- 落ち葉を掃き、手入れをした雑木林は、間もなく新緑の季節を迎え、キンランやギンランなどの可愛い草花を楽しませてくれます。そして、冬には又、落ち葉を蓄えると言う「豊かな自然の循環」を見せてくれます。
- 300 年以上続いている三富新田の景観を守り、未来につなぐための落ち葉掃きを、これからも続けていきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力を宜しくお願いいたします。
- 伊東農園さんには、ご厚意で飲み物や昼食を提供して頂きました。ありがとうございました。

昨年の伊東農園の写真です。



キンラン



ギンラン



さつま芋の苗床



さつま芋畑